

森本公民館だより



森本公民館

2021.10 発行

秋も深まり、朝夕が急に寒くなってきましたが、いかがお過ごしでしょうか。


新型コロナウイルスの感染拡大に伴い市民生活が制限されたこの2年間、公民館活動のほとんどが中止せざるを得ない状況となり、夏の大イベント「万灯と花火の夕べ」も2年続けての中止に追いやられてしまいました。この秋の秋祭りも縮小するなか、やすらぎのひとときを過ごしていただけたらと思い、秋祭りの宵宮として「夏のなごりの秋花火」と銘打って、秋花火を実施しました。楽しんでいただけたでしょうか？

今回、久しぶりの「公民館だより」として、秋まつりの周辺風景をお届けします。



10月9日 夜8時 一発目が高く上がり、次から次に・・・とはいかないものの、ふるさとの澄んだ夜空を彩ってくれました。

「ちょっとさびしいんじゃないの？」という声もありましたが、夏よりも水蒸気が少ない分、綺麗に見えたといき目の感想を伝えておきます。

山で目覚めた野鳥たちの声には驚きましたね。 



○夕方の、花火仕込み風景

毎年お世話になっている「山崎煙火さん」です。昨年コロナで「商売上がったたりだ」と嘆いていらっしゃいましたが、ようやく忙しくなりそうだと期待感。ちなみに当日は他にも3ヶ所で打上げ。



静かな夜の「のぼり旗」

祭提灯は灯しませんでしたが、スマホの威力。ストロボなしでも神々しさが伝わります。

「注連縄（しめなわ）」漢字で書くとこうなります。変な字ですね。

「締め縄」と書きたいところですが、これは間違い。



○今年の主役たち

～ 見て見て、この雄姿を ～



【ちょっと豆知識】

「大屋神社」に祀られている神様は「木花咲耶姫命（コノハナノサクヤヒメ）」。

なんて美しい名前なんでしょうね。この名前の美しさは昔から讃えられ、「古代説話を通じて最も美しい名前」と言われています。

当然、彼女は古事記に出きます。有名な「ウミヒコ・ヤマヒコ」のお母さんです。そして神武天皇（初代天皇）の曾祖母（ひいおばあさん）です。

◎ 年末には、昨年引き続き「お正月しめ縄飾り作り」を計画します。お楽しみに！！